

あとがき

当社が創立百周年を記念して社史の刊行を決定し、社史編集委員会を設けたのは、昭和62年12月であった。専任者は5名、他にアドバイザーとして現・旧役員6名が委嘱され、また社内各部から29名の専門委員が任命されて、資料収集や草稿執筆など多大の協力を頂いた。爾来、3年半を経過して製本完成することができたのである。

本書本文は3編からなり、直接の執筆は、

ニチボー編 安達 壽

日本レイヨン編 岡山 一也

ユニチカ編 加山 義雄

がそれぞれ分担したが、もとより多数の会社諸先輩や現役員、社員の方々の理解と協力がなければ、かくも短期に完成することはなかったであろう。従って本書は、素朴ながらも、会社の総力を挙げて作成した“手づくりの社史”であると言うことができよう。

加えて、社外各方面の方々のご指導とご助力の賜物でもあった。ことに、三和総合研究所、凸版印刷年史センターには、終始ご教示を頂いた。

さすがに100年の流れは深く広く、資料面からも自ずから精粗の箇所があり、全般を網羅するには不備な点も散見されるであろうが、このことに関してはご容赦願いたい。

ふり返れば、往時は渺茫^{びようぼう}の彼方にあるが、眼を凝らせば、先人が営々として築き上げた数多くの金字塔を透視することができる。後に続く者は、そのような歴史的事実とそれを支えた人間的努力の足跡に学び、ユニチカの限らない未来のための指針の一助として頂くことができるならば、社史編集者一同これに過ぎる喜びはない。

終りに当たり、改めてご指導・ご協力を賜った社内外各位に対し、深甚なる感謝の念を込めて、心からのお礼を申し上げる次第である。

平成3年6月

社史編集委員会

委員長 船越 滋

主筆 加山 義雄

委員 安達 壽

岡山 一也

松木 佑二郎

辻川 禎俊

事務局長 田中 泰雄

平成3年6月 発行

発行 ユニチカ株式会社

編集 ユニチカ社史編集委員会